

昨年11月16日の「町生涯学習まちづくり大会」の中で発表された、日野中学校3年の三島瑞季さんの作文を紹介します。

「認知症」

日野中学校3年 三島 瑞季



三島瑞季さん

「認知症」。この病名をほとんどの人が聞いたことがあると思います。

私のおばあちゃんは認知症でした。私がまだ保育園に通っているころのことです。おばあちゃんはだんだん物忘れがひどくなってきました。同じ事を何度も繰り返し聞く、そんなことが増えていききました。けれど、お年寄りにはよくあること、その時は深く考えもしなかったのです。

しかし、症状はどんどん悪くなり、こんな事が起こりました。おばあちゃんが家中の鍵を朝昼晩関係なく締めて回るのです。また、お茶が好きだったおばあちゃんは、ポットからお湯を出すとき、めると感じたのか、ポットをストープの上に置いてしまい、危うく火事になりかけるころでした。

そういうことがあるたびに、私たち家族はおばあちゃんを厳しく注意してしまつたのでした。ふだん自分たちがしない行動をするおばあちゃんに、少し嫌な気持ちを抱いてしまつていたのでした。

しかし、一緒に生活していくうちに、そんなおばあちゃんとの付き合い方が少しずつでも分かってきました。例えば、おばあちゃんが物が無くなったと騒いでいたとき、前だったら「そんなことない」ときつく言っていたところを、お父さんが一緒に探してあげると、険しい表情だったのがとても安心した表情を見せたそうです。

小さい私も、「お茶飲みならんかな？」と言われると、隣に並んで飲んだり、一緒にいたりすることが多く、かなりおばあちゃん子だったみたいで、仲良く過ごしていたようです。

最近、あらためて認知症について調べる機会がありました。症状について、「昔の記憶は残っているが、新しい記憶は残らず消えていってしまふ。それが原因となり、不安や疑いが増して、他人から見て理解しがたい行動をとるようになる」と書かれています。「怒れば怒るほど症状は悪くなる」と言われることも多い

ようです。記憶の不安などを怒ることによって、よりかき立ててしまっているだけだと気づきます。

不安な気持ちだからこそ、同じ目線で相手を理解して、安心させてあげることが大切なんだと思いました。

そして最近、小さいころよく遊んでもらっていた親せきのおばあちゃんが施設に入られたので会いに行きました。久しぶりに会えると思いつれしかつたのですが、「どちらさんでしょうか？」その言葉を聞いて、私はとてもショックでした。

年を取られていくと、こういうことがあるのは分かっていくけれど、今まで一緒に過ごしてきた時間を忘れてしまふのがとても悲しかったです。でもその相手が、たとえその思い出を忘れてしまったとしても、自分がしっかり覚えておいて、その話を「こんな事があつたんだよ」と話すくらいはできるんじゃないかなと思いました。今の相手を受け入れて、その相手に合った接し方を考えていきたいです。

以前は、「認知症」のことを「痴呆症」と呼んでいました。しかし、「それは差別用語ではないか」という声があり、今の病名になりました。

たかさんの人の中には、「ぼけている」などとばかにするような言葉を投げつける人もいます。そのような目で見てしまう人がいることがとても残念です。認知症は、がんなどほかの病気と同じで、ただ症状が違っただけだと思います。認知症の方だつてつらいことがたくさんあるはずですよ。

私たちにできること、しなければならぬことは、温かく見守り、つらいときには手を貸してあげることだと感じます。おばあちゃんと生活を共にして学んだことは、とても大きいものでした。みんなが笑顔で暮らせるよう、このことを忘れず、生活していきたいです。

▼この作文は、「第30回少年の主張鳥取県大会」で入選しました。おめでとうございませう。

今年も9月に開きます ～日野町民体育祭～

今年の町民体育祭について、自治会反省会やアンケートによりさまざまな意見をいただいて検討した結果、下記の日程で開くことにしました。

今年には町制50周年の記念の年です。多くの皆さんに参加いただけるよう、種目も改善していきますので、奮って参加いただきますようお願いいたします。

開催日 平成21年9月27日(日) 午前9時～

場所 根雨地区大会＝根雨小学校グラウンド、黒坂地区大会＝黒坂小学校グラウンド

問合せ 町教育委員会事務局(電話72-2107)

とっとり 就職フェア

平成21年春に大学や高校などを卒業予定の人や、すでに卒業して未就職の人、一般の求職者などを対象に、企業が業務や求人内容を説明し、希望者との面談を行う「とっとり就職フェア」を開きます。

予約不要で参加は無料、履歴書も不要です。参加企業の一覧表は、(財)ふるさと鳥取県定住機構ホームページ【<http://www.z-tic.or.jp/~furusato/>】に、1月中旬に掲載予定です。

開催日時・会場

会場	鳥取会場	倉吉会場	米子会場
日時	2月4日(水) 午後1時～午後4時30分 (受付:正午～午後4時)	2月5日(木) 午後1時～午後4時30分 (受付:正午～午後4時)	2月6日(金) 午後1時～午後4時30分 (受付:正午～午後4時)
場所	鳥取産業体育館 (鳥取市天神町)	倉吉シティホテル (倉吉市山根)	米子コンベンションセンター (米子市末広町)

実施団体 主催/鳥取県、鳥取県教育委員会、鳥取労働局ほか
後援/(独)雇用・能力開発機構鳥取センターほか

問合せ (財)ふるさと鳥取県定住機構(電話 0857 24 4740)
鳥取労働局職業安定部 職業安定課(電話 0857 29 1707)
鳥取県商工労働部 経済・雇用政策総室雇用就業支援チーム
(電話 0857 26 7693)

2009・2月

行政相談委員をご存知ですか ～まずは何でも相談を～

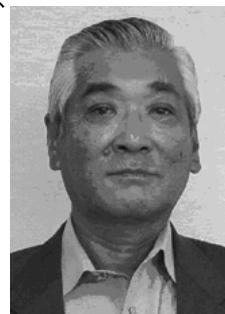
行政相談委員は、総務大臣から委嘱された民間有識者で、全国に約5,000人が配置されています。

皆さんの身近な相談相手として、役所の仕事についての苦情や要望などの相談を毎年約10万件以上受け付け、助言や関係機関に対する通知などを行っています。

受け付けた相談の中で、内容が複雑なものについては、行政評価事務所などに連絡し、解決を進めます。このような仕組みは、他の国からも注目されています。

鳥取県内には48人の行政相談委員が配置されています。日野町担当の行政相談委員は、野田の小谷学(こだにまなぶ)さんです。小谷委員は、原則として第2水曜日の午前9時から正午まで、日野町公民館(黒坂)または山村開発センター(根雨)で相談所を開き、苦情や意見・要望を受け付けています。(毎月の日程は、広報ひの「くらしのカレンダー」に掲載しています)

役所の仕事やサービスについての疑問や苦情などがありましたらお気軽にご相談ください。なお、相談は無料で、秘密は固く守られます。



小谷 学さん

相談内容の一例

【年金】

国民年金や厚生年金の資格条件について教えて
国民年金が支給されない理由を調べてほしい

【道路・運送】

国道の危険な箇所を早く直してほしい バスダイヤが便利になるよう改善してほしい

【社会福祉】

母子家庭への行政の援助措置を教えてほしい 母子家庭だが児童扶養手当を受け取れるか知りたい

【雇用】

倒産した会社の未払い賃金の立替払を早急にしてほしい 長時間労働改善へ会社を指導してほしい

【河川など】

橋の欄干とフェンスの間のすき間から子どもが落ちそうなので、河川の防護柵を延長してほしい

【申請などの窓口】

手続きや申請をどこにしたらいいのかわからないので、教えてほしい

行政相談制度についてのお問合せは、総務省鳥取行政評価事務所 行政相談課(電話 0857 24 5542)までお願いします